



SEO 財団 要介護認定平準化 チェックシート

23年間 ロングセラー

累計 100万部 以上の販売実績

SEO 財団 要介護認定調査平準化チェックシート Ver.13.0
2023年 5月版

著作権 / SEO福祉サービス評価機構。転載・複写・閲覧提供禁止
このチェックシートは証拠書類となります。調査時に何を根拠にしたのかなど確認できます。
記入漏れなど不備のないように正確に記入してください。
調査員の指導や不服申し立て時にお役立てください。保存しておくとうりです。

1. 調査月日 年 月 日 (曜日) () 件
予定訪問時刻 時 分、実際 時 分

2. 調査対象者 (ふりがな) 様 男・女・ ()
(被保険者番号) 番 非該当・要支援 ()・要介護 ()

3. 生年月日 西暦 年 月 日 日生 調査員
年 月 日 年 月 日

4. 調査員氏名 調査員

5. 調査場所
解読QRコード 居宅 自宅住所 電話
 自宅外名称 (関係) 電話
 介護施設 (介護施設) 電話
 特定施設入居者生活介護適用施設 (ケアハウス等)
 医療機関 (医療保険適用療養病床) 医療機関 (療養病床以外) その他の施設
【名称】 () () () ()
【担当者】 【所属】 【電話】

6. 立会状況
(1) 立会人 家族 (夫 妻 息子 娘 兄弟姉妹 孫 その他)
名前 様
 職員 (施設側職員 サービス提供側職員 担当ケアマネ その他)
名前 様
 その他 (成年後見人等 民生委員 その他)
名前 様
 合計 人
(2) 目的 日常の介護状況の説明 権利擁護 その他 ()
(3) 状況 本人 立会人 日常の介護状況の把握 (有り 無し その他)

7. 調査上の留意点等 Disease Notification 有・無

8. 備考 (調査後の他者確認等)

チェックミスを減らし
自治体の事務負担を軽減!

1999年9月、要介護認定平準化チェックシートは生まれました。
テキストを読み、質問を繰り返し、残したメモを見ながら特記の記載に苦しむ日々。
もっと効率良く、もっと効果的な認定調査は？と考え、完成させたものです。
あれから24年、SEO 財団チェックシートは更なる進化を続けています。

◇編集責任者:奥住 浩代◇

チェックミスが減らす多々の工夫

ポイント①

全ての項目について質問例を記載しています

ポイント②

認定調査員テキストの定義、選択基準、留意点のポイントを記載しています

ポイント③ <QRコードでの解説動画も好評>

○をつけたり、単語を記載しながら、審査会に伝わる特記事項が作れます

ポイント④

選択肢の根拠を明確に残すことができ、特記事項の作成や不服申し立ての際に活用できます

ポイント⑤

選択肢の右横の例文を読むことで、個々の選択肢の理解が深まります

ポイント⑥

調査員が選択ミスをしやすい部分は文字に色をつけています。

2-1 (いす・トイレ等に) 乗り移る時は、日頃どのようにしていますか？ お手伝いしてもらっていますか？ (1-)

移動	(いす・車いす・ボータブル・トイレ・体位交換時の移動・シーツ交換時の移動・移乗)	
移動の介助が行われているかどうか	1. 介助されていない	①ベッド欄・杖・手すりにつかまり一人で移乗している(費の生活・通って一人で移乗している(母居けでも可))
義足や器具、歩行器などの準備は介助の内容に含まれない	2. 見守り等	①_____が常時の付添いの必要がある「見守り」をし ②動作にあわせて、_____が車いす等をお尻の下に置く ③独居等で介護者がおらず、移乗時の転倒が多い(足に)移乗時に常時の見守り等が必要と判断し、「2. 見守り
「移乗」の機会がない場合は、「移乗」の行為が生じた場合を想定し、適切な介助を選択	3. 一部介助	①(_____)のため、_____に体幹・腰を支えら ②(_____)のため、_____に手を引かれて移乗!
	4. 全介助(自分で移動ができない)	①_____に抱えられて移乗している ②移乗の機会はないが、体位交換・シーツ交換時に臀部を③(医学的な理由から、_____)移乗の機会がない。四肢(車いす・ストレッチャー_____)等には、抱える介 ④[4. 全介助]を選択する

(7-1リンク) ※より詳細な状況で判断 ◆みらつく・転倒・腰痛・麻痺・筋力低下・意欲・視力・!

2-2 トイレや浴室等に移動する時は、お手伝いしてもらっていますか？ (1-)

移動先	トイレ	食堂	居間	洗面所	風呂場	リハビリ室	
回数	5回/日	3回/日	数/日	数/日	数/週	数/週	
移動の介助が行われているかどうか	赤く見守り	杖(手すり)	歩行器	押し車	支える	抱える	
「移動」の機会がない場合は、「移動」の行為が生じた場合を想定し、適切な介助を選択	1. 介助されていない	◆ゆっくり・時間がかかる	①(_____)を使用して移動する ②壁(手すり)を支えにして移動する ③車いすを自分で移動している(左・右(手・)確認・指示・声かけ	2. 見守り等	①_____が常時の付添いの必要がある「見守り」をし ②_____が、手を添える ③_____が、身体を支える ④_____が、コーナーを回る時に、支えた!	3. 一部介助	①_____が、抱えて移動する ②_____が、抱えて移動する ③途中で介助すると、後は自分で移動する ④途中で動けなくなるので、最後は_____が、抱えて移動する
義足や器具等を装着している場合や車いす歩行器などを使用している場合は、その状況に基づいて評価する。	4. 全介助(自分で移動ができない)	①_____が、抱えて移動する ②_____が、抱えて移動する ③(医学的な理由から、_____)移乗の機会がない ④(医学的な理由から、_____)移乗の機会がない(車いす自走はできない・ストレッチャー)等には、「4. 全介助」を選択する					

(7-1リンク) ※より詳細な状況で判断 ◆みらつく・転倒・腰痛・麻痺・筋力低下・意欲・視力・!

2-3 食事の時、飲み込みは自然にできますか？ (食物)

えん下	◆日頃の食事は 普通食
飲み込むという行為ができるか	1. できる
日頃の食物状態を確認し、その状況を「特記事項」へ	2. 自然に飲み込める
どの飲み込みの状態を確認「でっくん」	3. できない(えん下ができない)

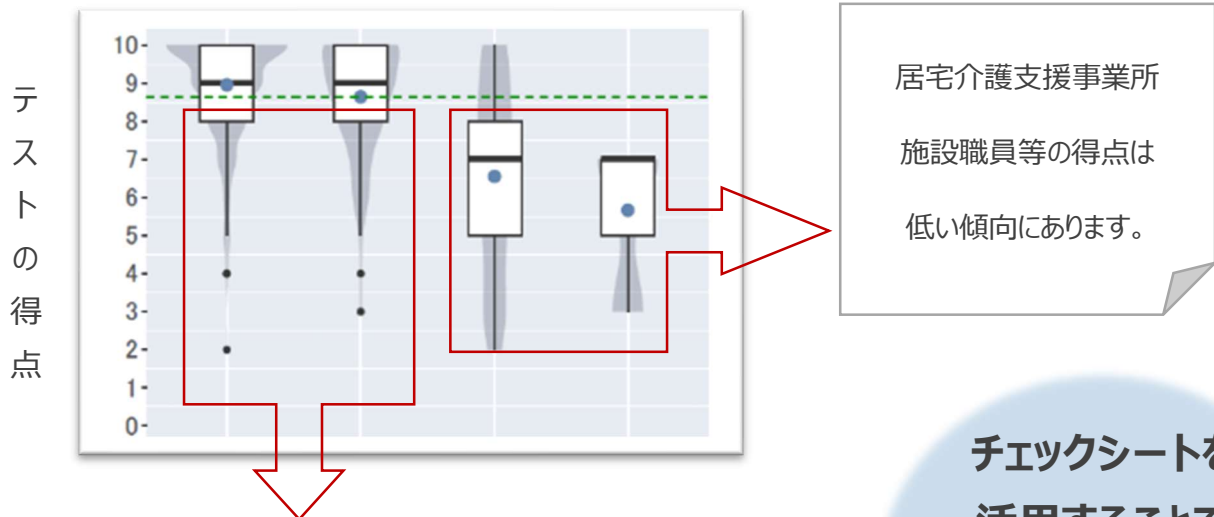
(7-1リンク) ※より詳細な状況で判断 ◆みらつく・転倒・腰痛・麻痺・筋力低下・意欲・視力・!

SEO 財団 要介護認定平準化 チェックシート

認定調査項目の理解度は 認定調査員によって差があります

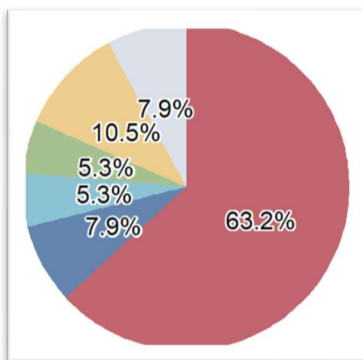
SEO 財団が全国で行っている要介護認定の調査項目理解度テストでは、

- ・ 1カ月の調査件数が少ない方、居宅介護支援事業所、施設職員等の得点が低い傾向。
- ・ 1カ月の調査件数が多い方、調査経験が20年以上の方でも得点が低い方もいます。



自治体職員や指定市町村事務受託法人の調査員であっても、
調査項目の理解度には差があります。

チェックシートを
活用することで
定義通りの認定調査を
行えるようサポート



購入された市町村等の **63.2%** は

“全ての認定調査” で 要介護認定平準化

チェックシート を使用 されています。

用途

全ての認定調査で使用	個人の学習用として	委託業者の認定調査のみ使用
新規・区変の認定調査のみ使用	研修教材として	その他

SEO 財団 要介護認定平準化 チェックシート



◇ チェックシートご愛用者の声 ◇

- チェックシートを使用してから調査員の選択ミスが減り、調査票の矛盾点についての確認作業等の事務負担が減りました。現在は全ての認定調査でチェックシートを使って調査を行っています。
- 居宅・施設等の調査員にチェックシートを配って調査をしてもらい、調査票とチェックシートを提出してもらっています。
- 調査員への研修教材として毎年購入しています。調査項目の説明文が分かりやすく、新人調査員への説明も行いやすいです。
- 特に判断に迷う項目（移動、食事摂取、排尿・排便、簡単な調理の項目等）について、チェックシートを使うようになってから、調査員が自信を持って調査できるようになりました。
- アドバイスをもらえる環境ではないので、個人的に購入し、毎回の調査で使用しています。私の心強いお守りになっています。
- 新人の教育担当です。チェックシートを通してフィードバックできるので長年愛用しています。
- 調査員から『チェックシートを購入してほしい』という要望が強くあがり、購入しました。

◇ 要介護認定調査平準化チェックシート (Ver.13.0) ◇

1セット30冊 6,600円 (税込、送料サービス)

著作権 SEO 財団 福祉サービス評価機構

住所 福岡市中央区薬院4-3-7フローラ薬院2階

電話番号 092-534-5600

ご注文は SEO 財団ホームページの購入申込フォームよりお願いいたします。